【どの子も大事】～居場所・かかわり・感動体験～　学校だより

ポプラ

令和2年度
第12号
令和3年
3月　1日発行
東大和市立
第四中学校

今年度も残すところ、3年生15日、1・2年生は20日になりました

校長　住吉　豊

先日の夜遅くに起きた地震には、驚かれた方も多かったのではないでしょうか。揺れも少し大きかったため、この後もっと大きく揺れるのかなと少し肝を冷やしましたが、なんとか揺れが収まりほっとしました。

この時期になると「3.11」という言葉が良く聞かれます。あの東日本大震災から早いもので、もう10年が経とうとしています。当時副校長として勤めていた中学校では、卒業式の練習の最中で、地下体育館が大きく揺さぶられ、このままつぶれてしまうのではないかと思いました。震災後には、使わなくなった机やイスを被災した学校に送りました。また、若手の教員の中にはボランティア休暇を取って、片付けの応援に駆けつけたり、父親会が主催して中学生がボランティア活動に行ったりすることもありました。私自身は、1年ほど経ってから仙台に住むいとこを訪ねた際に、海沿いを車で案内してもらいました。当時はまだ津波の爪痕(つめあと)も残っていて、海沿いの町では土台しか残っていない家があったり、田んぼには津波が走った跡といいますか、明らかに周りと違い、黒っぽくなっていて、その先に有る家だけが壊れていたりといった光景も見ました。

最近のテレビ番組でも、2次的に起こった原発災害による帰宅困難地区の方々の生活の様子が映し出されます。以前のような生活に戻るのには、後どれだけかかるのだろうと考えてしまいます。先日の地震では、変わらない日常生活を送れる事の幸せを、なんとも言えない気持ちで感じると共に、大地震への備えについて家族と改めて見直す機会になりました。

さて、話は変わりますが、どこの学校でも保護者の代表の方、地域の方に学校の状況についてより知って頂き、御意見を伺う機会を設けています。本校でも学期に1回「学校運営協議会」として、本校PTA会長の新井淑子さんや四っちゃん会（父親クラブ）代表の田中忠正さん、元保護司の方や八小、十小のPTA会長、第八・第十地区青少年対策協議会の方や民生・児童委員の方等に集まって頂き開催しています。経営方針や、学校の課題、生徒の授業や行事の様子、また、地域で見かける生徒の様子で気がついたこと等を伺っています。

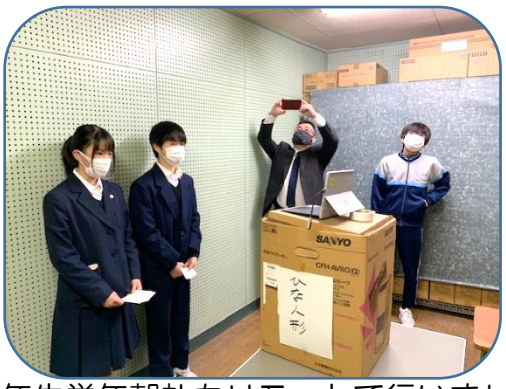
3学期の学校運営協議会は、緊急事態宣言を踏まえて紙上開催としました。以下に、生徒、保護者アンケート等の結果を見て頂いて、寄せられた声をいくつか御紹介いたします。先日の保護者・生徒アンケートの結果や、寄せられた学校運営協議会委員の皆様の声を、次年度の学校経営やアンケートの作成に生かしてまいります。

- 「よくわかり楽しい授業が多い」の項目では、(肯定的な意見の)生徒は50～60％なので、中学になると内容が難しくなるのを感じました。が、保護者アンケート結果では(肯定的な意見の)保護者が80％以上を占めており、生徒との隔たりを感じました。
- 日本全体の問題だと思うのですが、「自己肯定感」が低い。特に3年生が低いのが気になった。周りの人がもっと一人一人の個性に光を当てる。その子の良さを引き出していけるようにならなければと思います。家庭、地域を含め、環境・人づくりが大切なので、自身も努力していきたいと思います。
- 「PTA活動は活発である」の項目では、「あまりそう思わない」という意見も多かったようです。保護者と学校で何でも言い合える関係を作ることが大事だと思います。
- 生徒の願いや期待を生かした内容を取り上げ、これからも努力して欲しいと思います。
- 「自分自身や学校に誇りをもっている」の項目が低く、残念でした。自分に自信をもった生徒を育てるために、学校と保護者の努力が必要であると思いました。
- 8割以上の保護者の方が四中に入学させて良かったとの結果でうれしく思いました。
- 「落ち着いた雰囲気で授業に取組めている」の評価の高さに安心しました。このコロナ禍、環境づくりの難しさを感じました。
- 「運の悪かった世代」にしないために、何ができるのか、今年度の経験を来年度に生かして欲しいと思います。
- アンケートの設問は、保護者でもなかなか判断に窮すると感じました。より回答しやすい設問にするとか、子供と一緒に確認しながら回答する等の設問があっても良いかと思います。

今年度の卒業式は、保護者1名まで参加が可能という市の方針が出ました。3年生の保護者の皆様には、本日御案内が出ておりますので、そちらを御覧ください。

ポプラ第１１号で生徒の氏名に訂正がありました。心よりお詫びいたします。
正：井手心晴さん　←　誤：井出心晴さん

令和３年１月２９日（金）　２年生学年朝礼



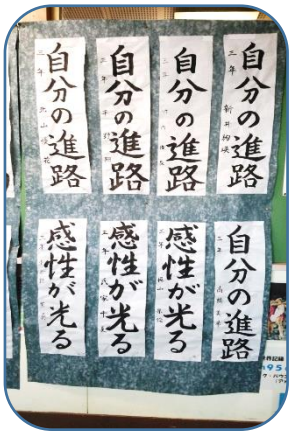
２年生学年朝礼もリモートで行いました。「バレンタインデイの思い出」をテーマに先生方が熱く語っていました。どんなあげ方やもらい方が嬉しいかなど、クラスアンケートの結果も紹介されました。

書初め優秀作品

各学年より優秀な作品が８名選ばれ校長室前にて展示されています。
楷書と行書の題字から各自が選んで冬休み中に書いた作品です。

１年生

２年生



３年生

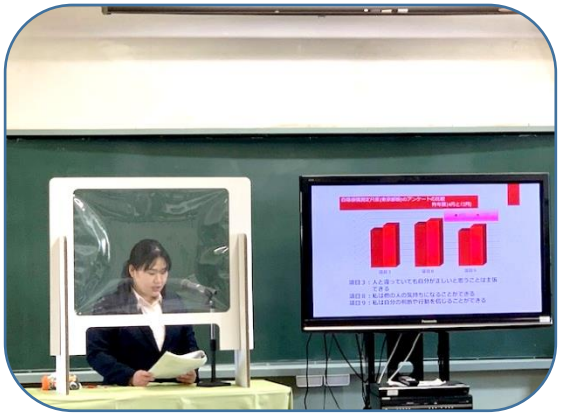
２月の美術作品

２年生の美術の授業では、モダンテクニックを使った宇宙の絵作りや、樹脂粘土を使った和菓子作りなどを行いました。和菓子の制作では、クロッキー帳に色とりどりの下絵を描き、気に入ったものを粘土に表しました。作品が完成すると、鑑賞会ではお互いの良さを伝え合う場面が見られ、充実した学習になりました。

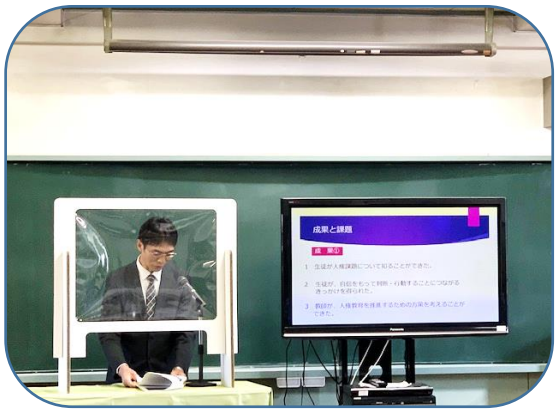
２月１６日（火）　人権尊重教育推進校　研究発表会の様子

真如昌美教育長　挨拶

相澤祥隆主任教諭　課題設定の理由



鳥井美保子主任教諭　取組内容



山田達哉主任教諭　成果と今後の課題

数々の取組を終え先生方も勉強になりました。

質疑応答

人権尊重教育の小学校と中学校の連携について

住吉豊校長　謝辞

※この模様は市内小中学校及び都内人権尊重教育推進校には配信による発表の予定です。